

新入荷商品のご紹介



糸に型染めをしてから織るため、角度によって色の見え方がかわったり柄の経糸と緯糸が微妙にずれるため、通常の型染めとは違った表情をみせます。

ほぐし織 銘仙

280800円



モザイク

帯留め

(帯締めは別売り)

上から5940円
4860円
4860円

小紋から紬、木綿などカジュアル着物にはびつたりのモザイク帯留め。白蝶貝や黒蝶貝、ピンク貝など組合わせて一つ一つの個性的な表情を見せます。どんな着物や帯でも合わせやすいので重宝します。



和想庵 礼装バッグ

60480円

上品に礼装を彩る和想庵のバッグ。振袖から訪問着・色無地まで幅広く使えます。



前沢工房

別誂え

帯締め

14040円

あまり個性的なコーディネートが必要としない礼装や準礼装シーンでも、ピリリとセンスの光るコーディネートに心掛けたいものですね。この帯締めは、上品さは失わずにワンランク上の大人のコーディネートトを演出してくれること間違えなし。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2017年9月号

ごあいさつ



先月より、年甲斐もなくテニスを始めました。最初は動くことがしんどかったですが、だんだん面白さに目覚めてきています。まずは、呉服屋の代名詞でもあるポッコリおなかを少しでも解消してダンディーな40代を目指したいと思います。皆さん期待しないで待って下さい。(誰も期待していないって!)

10、11、12月の連休

10月3日(火) 4日(水) 11月7日(火) 8日(水) 12月5日(火) 6日(水)

特集 志乎路紬 (しおじつむぎ) とは



最近、着物雑誌などで志乎路紬という織物をよく見かけます。大島紬や結城紬などメジャーな紬に比べて、あまり聞きなれないですが、最近、ひそかなブームとなっています。“志乎路(しおじ)”とは能登半島は別名で、この能登半島の入り口、羽咋(はくい)の近くで、故水島繁三郎氏によって生み出されました。まだまだ、40年ほどの歴史ですが、その特徴は結城紬の風合いと泥大島の色合いをといった二つの紬のすぐれた部分を併せ持つと言われていました。

特に糸づくりはもっとも重要な工程で結城紬と同じように真綿を手紡ぎで丁寧に引くため、熟練者でも1日に15グラムしかできません。上質の糸を作り真綿紬の味がよく出る手紡ぎならではの風合いに仕上がります。

織子さんは現在3名。熟練の職人さんが月2反程度だそうなので、あまり見かけないはずですね。

着心地は最高!と言いたいところなのですが、正直申しますと私もまだ着たことがありませんので、着心地を説明できないのが申し訳ないのですが、結城紬に似た風合いなのでどちらかというと冬場向きのほっこりとした紬なのかなと思います。手触りは若干結城紬に比べてさらりとしています。

着る機会がありましたら、また、改めてご報告したいと思います。



twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう!
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539